

## 専門委員会報告（仮） 目次（案）

## 序文

専門委員会が設置されるまでの経緯、委員会開催状況、メンバーなどを示す。

## 1 長良川河口堰建設の経緯

- ・構想から計画、実施にいたる経緯をまとめる
- ・目的と効果についての事業者側の説明をまとめる
- ・建設までに寄せられた疑問・批判をまとめる

## 2 検証：環境

- ・環境について計画で想定されたものと実態との比較
- ・漁業面における損失

## 3 検証：治水・塩害

- ・治水効果についての評価
- ・塩害対策についての評価
- ・漏水対策についての評価
- ・マウンドの再形成

## 4 検証：利水

- ・利水について計画通りの効果はあったか
- ・不要な水利権のための水事業者（自治体）の負担

## 5 開門調査の実現に向けて

開門調査の必要性を示し、実施に際して支障となりそうな課題を挙げ、その解決策を示す。

## 5-1 開門調査の必要性

## 5-2 開門調査への支障と解決策

## 5-2-1 利水の代替性

現在の取水は続けられるか 続けられないとすればどう代替するか

## 5-2-2 塩害の可能性

塩害が発生する可能性があるか 発生するとすればどう対策すればいいか

## 5-2-3 堆積物流動化の影響

堆積物が流動すればどのような影響があるか 影響があるとすればどう対策すればいいか

## 5-3 開門への期待

開門すれば何がどう改善されるか

## 6 どのように開門するか

- ・開門方法：一気に全開するのか 徐々に全開にもっていくのか 予想外の事態（大濁水・塩害）が発生した場合にどう対処するか
- ・調査期間はどのくらいか

## 7 開門して何を調査するか

- ・治水については現在も洪水時は全開しているので問題はない
- ・利水については代替案の有効性を確認する
- ・塩害については塩水がどこまで遡上するかを調査する
- ・ヘドロが流動化した場合の影響を調査する
- ・環境についてはこれまで継続してきた調査項目についてどのように変化するかを調べる
- ・長良川を継続して見ている人の「開門したことにより何がどう変化したか」について意見を聞く

## 8 まとめ